

フロム あらかわ

国土交通省 東北地方整備局
福島河川国道事務所
荒川砂防出張所



荒川砂防より情報を発信しています。

No. 3

安全パトロールについて



荒川砂防出張所では月に一度、工事現場の安全パトロールを行っています。これは工事現場を職員、施工業者が合同で行うパトロールで、現場にて安全に作業が行われているか、直接現場を点検し、改善点などを指摘することで、労務災害を未然に防ぐ目的で行われています。

11月22日に松川砂防出張所と合同で安全パトロールが行われました。今回は川上第1砂防えん堤補強工事(荒川砂防担当)、袖川第1砂防えん堤工事(松川砂防担当)が行われている現場をそれぞれパトロールしました。



今回の安全パトロールについての概要説明が荒川砂防出張所長より行われ、続いて各工事の現場代理人から月別の安全目標の報告がありました。本日のスケジュールを確認し、早速現場に向かいました。



すみずみまで点検☆

危険な箇所はないかな？



現場に到着すると、現場代理人から工事状況や当日の作業内容などについての説明を受けました。その後、各自が「現場安全点検表」に記載されている項目について点検作業を行いました。

現場での点検作業が終わると、出張所に戻り、職員より現場での点検結果についての報告や意見が積極的に出されました。ここで出された意見は、より安全な工事をするために大変参考になります。

作業の慣れによって発生する危険は、時として第三者でないと気が付かない場合があります。そのような危険を未然に防ぐためにも、このような安全パトロールを定期的に行っています。作業を行う人の毎日の点検や注意はもちろんですが、安全パトロールを実施することで、さらなる安全な作業を進めていきます。





荒川砂防えん堤探検記



探検記 その2 荒川第1砂防えん堤

荒川第1砂防えん堤は当出張所が直轄管理するえん堤の中でも最も古いえん堤です。約70年前、昭和11年から12年にかけて作られました。

「隊員参上!!(・o・)v」



荒川第1砂防えん堤は、塩の川との合流点より少し上流に位置しています。車で国道115号から林道へ入り、そこから徒歩でかなり急な山道を慎重な足取りで降りていくと目の前に荒川が見えてきます。このあたりは川の両側に岸が無いので、第1えん堤に行くにはここから荒川の中を進んでいくしかありません。先日、「荒川の水質が日本一!」との調査結果が発表されましたが、その言葉のとおり荒川の水は川底まで透き通っていて、うっとりするくらい綺麗でした。しばらく水の中を歩き進んでいくと目の前に大きなえん堤が現れました。写真を見ていただくとわかるように、表面が"ぼこぼこ"しています。これは同じくらいの大きさの石を積み重ねて固めているためにこのような形状になっているのです。重機などがまだ無かった時代に大きな石を手作業で積み重ね、作り上げるには大変な作業だったと思います。先人たちが築き上げたこのえん堤は70年以上経った今でもどっしりと私たちの生活を守り続けています。



- 1 滑り易く急な斜面を進んでいきます。
- 2 荒川と塩の川の合流点です。(手前が荒川,奥が塩の川)
- 3 荒川第1砂防えん堤
- 4 荒川第1砂防えん堤



土湯温泉の源泉



土湯温泉町の奥、荒川沿いに土湯温泉の源泉があります。普段は門が閉まっており、一般の方は入る事ができませんが、源泉について少し紹介します。門を抜け奥へ進んでいくと、地面のいたるところから源泉が勢いよく噴き出していました。地面に手を当ててみるととても暖かく、場所によってはやけどをしてしまいそうな熱さでした。初めて見る光景で、自然のすばらしさに感動しました。温泉に入りたくなっちゃいますね(^ ^)



荒川砂防出張所では地域の皆様に砂防事業の大切さを知ってもらい、関心を持って頂くべく現場見学会や説明会等を随時行っております。各種団体、学校関係者様などで「砂防施設について詳しく知りたい!、見学したい!」等のご希望がありましたら下記までご連絡願います。

〒960-2156 福島県福島市荒井字地藏原甲2-14

国土交通省 福島河川国道事務所 荒川砂防出張所

024-(593)-0831 (直通)

福島河川国道事務所HP <http://www.fks-wo.thr.mlit.go.jp/>

ご意見、ご感想、砂防に関する問い合わせ等ございましたら、ぜひお寄せ下さい!

(平成17年12月作成)

